

すべてがFになる

講談社文庫／森博嗣

孤島にあるハイテク研究所で、隔離された生活を送る天才工学博士真賀田四季。彼女がウエディングドレスに身を包み、部屋で惨殺死体となって見つかった。部屋は完全な密室で、コンピュータのディスプレイには「すべてがFになる」という文字が残されていた。その後も研究所内で連続して殺人事件が起こる。この謎にN大助教授犀川創平と教え子、西之園萌絵のコンビが挑む――。

本作は第1回メフィスト賞を受賞した森博嗣氏の鮮烈なデビュー作である。あらすじを見ると、孤島での密室殺人というありきたりなミステリ小説と思われるかもしれない。しかし、本作は他のミステリ小説とは一線を画している。コンピュータなどのハイテク機器が使われるという現代的な設定であり、作品の重要な要素となっているのである。もちろん難解な謎・意外な犯人といったミステリに必要な部分も含んでおり、それらと現代的な設定との調和が新しいミステリの形となって表れている。

「先生、現実って何でしょう？」
「現実とは何かと考える瞬間に人間の思考に表れる幻想だ。普段はそんなものは存在しない」



定価：733円（税抜）
ISBN：4-06-263924-6

知的で、ある種哲学的な会話がいたるところに現れることも本作の大きな特徴となっている。また、著者の作品は登場人物が非常に個性的である。犀川や萌絵だけでなく、幼稚園で3乗根の暗算ができ、11歳で博士号を取得するという突拍子もないエピソードによって神格化されている真賀田博士もまた強烈な印象を残す。彼女は本作のみならずシリーズ全体に影を落としている。

本作は犀川と萌絵を主人公にしたS&Mシリーズの第1作である。シリーズは10作構成であり、そのどれもが森博嗣独特の世界観を表している。シリーズを通して読み、あなたも新しいミステリの形を体感してみてもはどうだろうか。

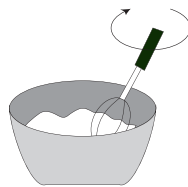
(Ham)



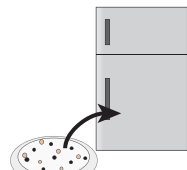
ちょこっとスコーン☆

食欲の秋です！ 甘いものを自分で作って食べましょう！
でも、食べすぎにはご注意ください。
(こるぼ)

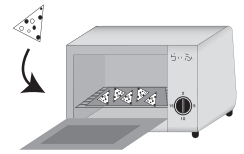
材料		
A	・ホットケーキミックス	200g (1袋)
	・ブラックココア	小さじ2杯
	・砂糖 (好みで加減)	大さじ1杯
B	・バター	50g
	・インスタントコーヒー (少量のお湯で溶く)	小さじ1杯
	・プレーンヨーグルト	35g
	(ヨーグルトがなければ牛乳35cc)	
	・卵	1個
	・マシュマロ	お好み
	・チョコレート	お好み



①Aをボールに入れ、泡だて器で均一になるようにする。全体がボロボロになるまで、Bを加えゴムベラで切るように混ぜる。溶き卵を加えた後、ヨーグルトを少しずつ加えてさっくり混ぜる。



②小さく切ったマシュマロとチョコレートをお好みで加え、生地をまとめて冷蔵庫で30分寝かせる。その後、生地を包丁で適当な大きさに切り分ける。



③クッキングペーパーにのせて600Wのオーブントースターで10分焼く。焦げ目がついたらアルミホイルを上にかぶせる。オーブンがある場合は、170度で18分焼く。

はみだし
すてーじ

これ以上はみだしたくありません。
⇒ここにまではみだしてしまいましたよ。

(理・2 消しゴム)
(ここ以外にははみださないで；編)